

ライオンズクラブは、「ウィ・サーブ（われわれは奉仕する）」をモットーとして掲げ、200を超える国と地域におよそ5万のクラブ、135万人の会員（日本では約10万人）を擁する**世界最大の奉仕団体**です。

蒲郡マリンライオンズクラブは、1989年に結成認証されました。当クラブは『**経済力（寄付、寄贈等）の奉仕**』というよりは、『**知恵と労力の奉仕**』に重点をおき、**まちの活性化に寄与すること、さらには市民や行政に提言することを目的とする奉仕団体**です。従来年会費が20万円でしたが、**12万円**としました。SNSを駆使して、今後も会費を下げることを目標に、いわゆる**経営者ばかりでなく多くの女性、若手の《ボランティアが好き》**という方に、会員になっていただきたいと思えます。

◆蒲郡マリンライオンズクラブ独自の奉仕活動(アクティビティ)



◎いも掘り大会

竹島水族館西側の竹島ベイパークにおいて保育園児とその父兄、福祉施設入居者等毎年約300人を招いて10月に行われます。2023年で20回目となりました。従来、我々が苗を植えてたいもを掘ってもらうことと、市販されているいもを現場にて焼きいもにし、家族団欒で頬張る場所を提供する企画でした。最近ではさらに焼きいもをアルミホイルで包む作業、ジャンボいも大会、宝探し、シャボン玉、エコキャップアートの作成、JAよりパンジービオラの苗の配布等、参加者により一層楽しんでもらえるよう企画しています。



◎地域交流くすの木福祉まつり

社会福祉法人くすの木福祉事業会は、障害者を支援する福祉施設を運営しています。「福祉まつり」(2023年時 第30回)は施設のある大塚町の地域住民や、多くのボランティアとの交流の場となっています。当クラブも、開所以来参加してきました。綿菓子作成、椎茸販売等のお手伝い、そして、おまつりの最後には、当クラブの餅投げがあり、参加者には大変喜んでいただいています。



◎蒲郡マリンロードの環境整備

観光名所といわれる蒲郡市にとって、市内全域の道路をきれいにすることは望ましい限りです。しかし実際は草が車歩道段差部、中央分離帯等に生茂り、その価値を下げてしまっているのが現状ではないでしょうか。自宅前の植樹帯は市民がご協力していただける社会になればと思います。



東は三谷町の若宮公園から、西へ三谷水産高校、竹島、竹島水族館、市民会館、そして栄町の犬飼港のTの字突き当りまで「マリンロード」といわれます。竹島水族館からエディオンまでの防波護岸のある通称竹島ベイパーク北側道路約300m区間、そして、市民会館、蒲郡市博物館の南側道路約400m区間を重点整備区間として、根こそぎの草取りそして、側溝上の土付きの草取りを行なっています。

◎エコキャップアートによる環境保全

2011年より多くのライオンズクラブのアクティビティとなっているエコキャップ回収運動の周知促進のため、キャップによるモザイク絵を製作します。身近なエコキャップが世界の子供たちにワクチンを届けることになることを理解してほしい。今後は、市民にデザイン募集し製作し、官庁に展示して環境保全を訴えていきます。



◎平和ポスターの表彰式

ライオンズ国際平和ポスターコンテストに参加された蒲郡北部小学校6年生全員のための表彰式を、北部小体育館で開催しています。毎年受賞者の笑顔がすばらしい。前向きな人生を歩むきっかけになることを祈念しつつ継続して行います。



◎養老孟司氏講演会「虫好き集まれ！趣味に生きる」及びさがらの森にて虫捕り（35周年記念事業）

◆多くのライオンズクラブが行っている奉仕活動(アクティビティ)

小中学校での薬物乱用防止教室の開催、エコキャップ回収運動、赤い羽根運動、献血活動、交通安全キャンペーン、530運動、義援募金活動も行っています。

我々蒲郡マリンライオンズクラブの奉仕活動は、他ライオンズクラブ会員からも称賛をいただいています。一緒に活動いたしましょう。

